

# hamamatsu monodukuri meister

浜松ものづくりマイスター

平成23年度 浜松ものづくりマイスター認定者

古橋織布有限会社

代表取締役 ふる はし とし あき 古橋 敏明 氏

## 専門相談対応分野

### テキスタイル（織物、布地）の製造・販売

古くから綿織物の産地として栄えた浜松地域において、平織の旧型シャトル織機を使いこなし、素材を活かす伝統的な手法にこだわった独自のテキスタイルの開発、製造、販売を手がけています。従来の織物よりも糸密度を高くした緻密な織物は、毎年積極的に出展している展示会で興味を持ったバイヤーやデザイナーが、製造の現場を目で確かめにくることもあります。浜松の工場まで足を運んで、その場で商談が始まったりすることも多く、取引が広がっています。

また、国内だけでなく、海外の展示会に出展したり、ミラノ在住の日本人エージェントを介して布地をプレゼンするなどして、ヨーロッパなど海外からも注目を集めています。

## マイスター Profile ～資格・実績・受賞等～

1996年 日本綿スフ織物工業連合会  
(本会青年部副委員長)

2005年 静岡県商工会連合会(地域商工業の発展)

2007年 静岡県知事(研究開発功労者)

2010年 中央会

出荷実績/延べ200社 常時取引30社

海外実績/イタリア、フランス有名ブランド他

国内実績/カミシマチナミ、群言堂、mon.Sakata、

KURO、若手テキスタイル・デザイナー他

展示会/毎年5回 東京の展示会へ出展している。

パリおよびミラノコレクション開催時期に合わせて、現地で小展示会を開催している。

西暦/月	展示会名	
2006年 3月	CREATION BUSINESS FORUM(CBF)	
	テキスタイルネットワークジャパン2007S/S(TNJ2007 S/S)	
	テキスタイルネットワークジャパン2007A/W(TNJ 2007 A/W)	
11月	CREATION BUSINESS FORUM(CBF)	
	CREATION BUSINESS FORUM 2008(CBF2008)	
2007年 3月	CREATION BUSINESS FORUM 2008(CBF2008)	
	テキスタイルネットワークジャパン2008S/S(TNJ2008 S/S)	
	JAPAN CREATION 2008 Spring/Summer(JC 2008 S/S)	
11月	テキスタイルネットワークジャパン2008A/W(TNJ 2008A/W)	
	CREATION BUSINESS FORUM 2008(CBF2008)	
	ジェトロミラノ展	
2008年 2月	ジェトロミラノ展	
	テキスタイルネットワークジャパン2009S/S(TNJ2009 S/S)	
	JAPAN CREATION 2009 Spring/Summer(JC 2009 S/S)	
	テキスタイルネットワークジャパン2009A/W(TNJ 2009A/W)	
10月	JAPAN CREATION 2009 Autumn/Winter(JC 2009 A/W)	
	2009年 2月	ジェトロミラノ展
	4月	テキスタイルネットワークジャパン2010S/S(TNJ2010 S/S)
JAPAN CREATION 2010 Spring/Summer(JC 2010 S/S)		
テキスタイルネットワークジャパン2010A/W(TNJ 2010 A/W)		
10月	JAPAN CREATION 2010 Autumn/Winter(JC 2010 A/W)	
	2010年 2月	ジェトロミラノ展
	5月	テキスタイルネットワークジャパン2011S/S(TNJ2011 S/S)
JAPAN CREATION 2010 Spring/Summer(JC 2010 S/S)		
5月		JAPAN CREATION 2010 Spring/Summer(JC 2010 S/S)

西暦/月	展示会名	
9月	Japan Textile Exhibition in Paris/Milan	
	テキスタイルネットワークジャパン2011A/W(TNJ 2011 A/W)	
	JAPAN CREATION 2010 Autumn/Winter(JC 2010 A/W)	
10月	JAPAN CREATION 2010 Autumn/Winter(JC 2010 A/W)	
	2011年 2月	Japan Textile Exhibition in Paris/Milan
	4月	Japan Textile Exhibition in Paris/Milan
テキスタイルネットワークジャパン2012S/S(TNJ 2012 S/S)		
Premium Textile Japan 2012 S/S(PTJ 2012 S/S)		
5月	Premium Textile Japan 2012 S/S(PTJ 2012 S/S)	
	9月	Japan Textile Exhibition in Paris/Milan
	10月	Japan Textile Exhibition in Paris/Milan
テキスタイルネットワークジャパン2012 A/W(TNJ 2012 A/W)		
Premium Textile Japan 2012 S/S(PTJ 2012 A/W)		
10月	Premium Textile Japan 2012 S/S(PTJ 2012 A/W)	
	2012年 2月	Japan Textile Exhibition in Paris/Milan
	2月	Japan Textile Exhibition in Paris/Milan
第1回遠州織物コレクション		
5月		テキスタイルネットワークジャパン2013 S/S(TNJ 2013 S/S)
5月	テキスタイルネットワークジャパン2013 S/S(TNJ 2013 S/S)	
	Premium Textile Japan 2013 S/S(PTJ 2013 S/S)	
	6月	福岡ギフトショー
11月	福岡ギフトショー	
	テキスタイルネットワークジャパン2013A/W(TNJ 2013 A/W)	
	Premium Textile Japan 2013 A/W(PTJ 2013 A/W)	
11月	Premium Textile Japan 2013 A/W(PTJ 2013 A/W)	
	2013年 2月	第2回遠州織物コレクション
	4月	第1回遠州織物コレクション
第1回綿織物産地素材展		
5月		テキスタイルネットワークジャパン2014S/S(TNJ 2014 S/S)
5月	テキスタイルネットワークジャパン2014S/S(TNJ 2014 S/S)	
	Premium Textile Japan 2014 S/S(PTJ 2014 S/S)	
	6月	福岡ギフトショー

2011～毎年2月/9月 パリ、ミラノ在住の日本人エージェントがコレクションの開催に合わせて小さな展示会を開催している。

毎年6月 福岡ギフトショー 出展。



## 古橋織布有限会社 代表取締役 古橋 敏明 氏

所在地 浜松市西区雄踏町山崎3574

### ●織機的能力を限界まで引き出して独自の工夫で布を織る

浜松の繊維産業がまだ盛んな頃、この地域周辺には綿糸を生産する紡績工場が8工場もありました。そして布を織る機屋（はたや）が次第に増えていき、遠州産地と呼ばれる一大産地を形成し大変栄えていました。当時は紡績会社からの委託加工が多く、私たちも委託を受けて織っていました。しかし、1970年代から貿易摩擦や石油ショック、また円高の進行などがあり、繊維産業がコスト競争で勝てなくなり大手が次々と工場を撤退していきました。そして浜松は、楽器や自動車などで外貨を稼ぐようになっていきました。1995年頃から委託加工だけではなく、自分で売ろうと努力を重ねてきました。少しずつ委託加工から自社販売へと転換し、今では95%が自社販売です。

#### ◎1950年

浜松市西区雄踏町生まれ

#### ◎1968年

浜松工業高等学校繊維機械科卒業  
古橋織布有限会社入社

#### ◎1987年

代表取締役就任

### しごとの相棒

織機工場は糸を切れにくくするために、湿度85%を保っています。また、普通に織っているのでは、機械の持つ能力の70%くらいが精いっぱいです。それ以上の能力を出そうとすると、機械に負荷をかけ過ぎて、機械を痛めてしまいます。いくら能力いっぱいまで引き上げても織欠点が多くて困ります。そこで、長年織機を使いこなしてきた経験から、自分なりの布を作る工夫やノウハウを習得しました。難度が高いよそでまねのできない密度が高く緻密な織り方ができます。織機的能力を100%引き出せる工夫が他社との差別化をもたらしています。

阪本式織機 遠州製および豊和製、56インチ幅・16台、66インチ幅・4台、レピア織機・2台、合計で22台の織機を使っている。



糸切れを修整する古橋氏



旧型の織機のため故障することがある  
パーツは自社で交換する



検反機：織り上がった生地  
の織欠点を検査する  
検査台



レピア織機：織機から次々に布が織られていく



### 仕事の手応え／喜び／やりがい

デザイナーやバイヤーから、「古橋さんの生地は、触ると良さがわかる。」「やっぱり古橋さんの生地を使いたい。」などの評価がもっとも大きな喜びです。また、デザイナーやメーカーを介して、最終消費者の「着ると、気持ちがいい。」の声を聞くと、毎日の仕事の励みになります。浜松の小さな機屋で織った生地が、海外の有名ブランドに通用することも大きな励みです。

### プロフェッショナルの視点

若いデザイナー達は生地についても熱心に勉強しています。自分のつくりたいテキスタイルのために生地を熱心に選び、また探しています。そこで、展示会に出展することによって、デザイナーやバイヤーと出会い、話している中から商品開発のヒントを得ています。新たに興味を持ったバイヤーが、回を重ねることでよい情報を提供するリピーターになります。

### プロになる方法

先輩たちが苦勞して築き上げた「遠州織物」を是非とも後世に伝えてもらいたいと思います。先輩から学びながら、自分なりの「ものづくり」を構築してもらいたいです。自分で創ったものを自分で売ること、自分が価格を決めることができます。

また、いろいろな人との出会いを大切に、情報を発信したり受信したりすることも、技術を高めるうえで重要だと思います。消費者のニーズを得るために、より消費者に近いところで仕事をするように心がけることです。